

次代青少年育成委員会 年間事業計画書

1. 委員会構成メンバー ◎伊東 寛太、○遠藤 宗一郎、金山 栄達、岩田 美菜江、内田 浩平

2. 委員長所信（基本方針）

昨今の情報化社会の発展により子どもたちを取り巻く生活環境は大きく変化して来ました。生活の中でスマートフォンと向き合う時間が増える一方、家族や友達との直接的なふれあいや地域とのつながりが希薄になりつつあると感じます。そのような環境が子どもたちの大事な成長過程での人間形成の妨げになっている部分があるのではないのでしょうか。また、そのような環境で育った子どもたちがいざ実社会に出て大きな壁にぶつかった時、それを乗り越えていけるのでしょうか。

だからこそ私たちはこの次代の地域を担っていく子どもたちというたからに地域ぐるみで愛情と信頼を持って向かい合っていかなければならないと考えます。そこで、安来という地域資源に恵まれた環境で子どもたちに感動体験ができる機会を創出し、心の豊かさを育み、その中で自分の将来の夢について考えてもらう機会をつくります。

また、継続事業として行っております「OMO I Y A R I 音楽会」に関しましても手話を通して「思いやり」というものを考え、合唱を通じて協調性、規律を学び、その練習の中で努力、我慢、コミュニケーションと様々な学びがあります。その学びの中で子どもたちの自主性、創造性、責任感を育み、来たる次代の社会を切り開いていける青少年を育成していきます。そしてその育成の中で我々自身も成長し、尚一層この地域に貢献していけるよう一年間精一杯努めて参ります。

3. 事業計画

1) 広報誌ふれあい（新年号）の発刊（1月）

（目的）安来市民の皆様へ理事所信、事業予定を周知します。

（方法）広報紙ふれあい（新年号）を発刊します。安来市内山陰中央新報購読者対象。

2) 2月例会並びに第159回通常総会の開催（2月）

（目的）総会を開催し定款第3章第17条の事項について決議します。

（方法）通常総会を厳粛に滞りなく開催します。

3) 5月例会の開催（5月）

（目的）地域資源の中での感動体験の機会をつくり、豊かな心を育みます。

（方法）子どもたちに将来の夢を発表してもらいます。

4) 7月納涼例会の開催（7月）

（目的）家族同士の交流の機会をつくり、絆を深めていただきます。

（方法）家族納涼例会を開催します。

5) 9月例会「OMO I Y A R I 音楽会」の開催（9月）

（目的）手話や合唱を通して思いやりの心を考え、心の成長の場をつくります。

（方法）第3回「OMO I Y A R I 音楽会」を開催します。